



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 松風

上場取引所 東

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 梅田 隆宏

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	18,445	3.6	1,323	16.5	1,270	0.8	892	4.3
30年3月期第3四半期	17,801	8.2	1,135	14.0	1,281	47.3	933	42.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 79百万円 ( %) 30年3月期第3四半期 2,353百万円 (150.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	56.15	55.76
30年3月期第3四半期	58.73	58.38

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	29,331	23,775	80.7	1,487.53
30年3月期	30,890	24,157	77.8	1,511.85

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 23,656百万円 30年3月期 24,035百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		12.00	20.00
31年3月期		8.00			
31年3月期(予想)				13.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 30年3月期期末配当金の内訳 創立95周年記念配当 2円00銭

## 3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,725	7.1	1,737	16.0	1,630	4.2	1,109	26.4	69.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	16,114,089 株	30年3月期	16,114,089 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	211,122 株	30年3月期	215,792 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	15,901,659 株	30年3月期3Q	15,894,033 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策による貿易摩擦など、景気の下振れリスクも依然として残る状況にあります。国内経済については、自然災害による影響が懸念されるものの、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,445百万円と前年同期比643百万円(3.6%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、8,329百万円(対売上高45.2%)と前年同期比726百万円(9.6%)の増収となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費が前年同期比376百万円(4.1%)増加したものの、増収により営業利益は1,323百万円と前年同期比187百万円(16.5%)の増益となりました。しかし、為替の影響などにより、経常利益は1,270百万円と前年同期比10百万円(0.8%)の減益となりました。税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、892百万円と前年同期比40百万円(4.3%)の減益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、当第3四半期連結累計期間に市場投入した歯科用多目的超音波治療器「エアフロー プロフィラキス マスター」や歯科用象牙質接着材「松風ビューティボンド ユニバーサル」などが売上げに寄与しましたが、市場競争の激化により、売上高は前年同期比減収となりました。海外では、北米・中南米や中国を含むアジアを中心に好調に推移し、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,592百万円と前年同期比688百万円(4.3%)の増収となり、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は1,337百万円と前年同期比243百万円(22.3%)の増益となりました。

(ネイル関連事業)

国内では、主力ブランドである「L・E・D GEL Presto」や一般消費者向けブランド「by Nail Labo」、前期に市場投入した新ブランド「ageha」と、ジェルネイル製品が売上げを牽引し、前年同期比増収となりました。海外では、米国において堅調に推移したものの、台湾において競合他社の攻勢が激しさを増しており、前年同期比減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,776百万円と前年同期比44百万円(2.5%)の減収となり、利益面は販促活動に伴う費用負担が増したことにより、営業損失32百万円と前年同期比54百万円の減益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は75百万円、営業利益は13百万円とほぼ前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,559百万円減少し、29,331百万円となりました。時価低下による投資有価証券の減少が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,177百万円減少し、5,556百万円となりました。長期借入金や長期繰延税金負債の減少が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ381百万円減少し、23,775百万円となりました。その他有価証券評価差額金の減少が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.9ポイント上昇し、80.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,733	4,806
受取手形及び売掛金	3,285	2,981
有価証券	5	5
商品及び製品	3,996	4,659
仕掛品	925	907
原材料及び貯蔵品	950	1,103
その他	480	557
貸倒引当金	△31	△46
流動資産合計	15,345	14,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,116	8,126
減価償却累計額	△5,154	△5,320
建物及び構築物（純額）	2,961	2,805
その他	10,108	10,632
減価償却累計額	△6,481	△6,653
その他（純額）	3,627	3,978
有形固定資産合計	6,588	6,784
無形固定資産		
のれん	320	288
その他	959	861
無形固定資産合計	1,279	1,149
投資その他の資産		
投資有価証券	6,663	5,523
退職給付に係る資産	629	533
その他	397	377
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	7,676	6,422
固定資産合計	15,545	14,355
資産合計	30,890	29,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	744	781
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	505	297
役員賞与引当金	43	35
その他	1,869	1,674
流動負債合計	3,663	3,289
固定負債		
長期借入金	986	604
退職給付に係る負債	216	220
その他	1,867	1,442
固定負債合計	3,070	2,266
負債合計	6,733	5,556
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	11,707	12,281
自己株式	△236	△231
株主資本合計	20,522	21,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,282	2,442
為替換算調整勘定	2	△124
退職給付に係る調整累計額	228	236
その他の包括利益累計額合計	3,513	2,554
新株予約権	101	112
非支配株主持分	19	6
純資産合計	24,157	23,775
負債純資産合計	30,890	29,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	17,801	18,445
売上原価	7,556	7,635
売上総利益	10,244	10,809
販売費及び一般管理費	9,109	9,485
営業利益	1,135	1,323
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	80	85
会費収入	81	91
為替差益	163	-
その他	86	105
営業外収益合計	418	287
営業外費用		
支払利息	5	6
売上割引	123	122
当社主催会費用	105	112
為替差損	-	44
その他	38	53
営業外費用合計	273	340
経常利益	1,281	1,270
特別利益		
投資有価証券売却益	23	-
特別利益合計	23	-
税金等調整前四半期純利益	1,304	1,270
法人税等	368	390
四半期純利益	936	879
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	933	892

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	936	879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,048	△839
為替換算調整勘定	327	△127
退職給付に係る調整額	41	7
その他の包括利益合計	1,417	△959
四半期包括利益	2,353	△79
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,350	△66
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△13

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	15,903	1,821	76	17,801	—	17,801
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	5	6	△6	—
計	15,903	1,822	81	17,807	△6	17,801
セグメント利益	1,093	21	14	1,130	4	1,135

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客への売上高	16,592	1,776	75	18,445	—	18,445
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	6	6	△6	—
計	16,592	1,777	82	18,451	△6	18,445
セグメント利益又は損失(△)	1,337	△32	13	1,318	4	1,323

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。